

日本ピア・サポート学会 第22回北海道研究大会のご案内

1次案内 発表エントリー

大会テーマ

青い空 白いキャンパスに描くピア・サポートの絆をあなたとともに
～人とつながる支えあい～

期日：2024年11月3日（日）～11月4日（月・祝）

主催：日本ピア・サポート学会

後援：日本学校教育相談学会・日本教育相談学会北海道支部
北海道教育カウンセラー協会・北海道教育委員会
岩見沢市教育委員会・札幌市教育委員会

会場：札幌創成高等学校（北海道札幌市北区北29条西2丁目1-1）
および オンライン

ごあいさつ

この度、第22回研究大会を、北の大地・北海道札幌市で開催させていただくことになりました。北海道研究大会は、2008年8月に、札幌商科大学にて第7回研究大会を開催しております。以来、実に16年ぶりの開催となりました。当時の実行委員会業務を懐かしく思い出しながら、昨年春から、大会の成功に向けて準備を進めてきました。

本大会のテーマは、「青い空 白いキャンパスに描くピア・サポートの絆をあなたとともに～人とつながる支えあい～」といたしました。

コロナ禍を経て、子ども達に現れている様々なコミュニケーションの課題解決に、「ピア・サポート活動が有効ではないか・やってみたい・取り入れたい」と考えている学校関係者が増えています。この動きは、学会がスタートして20年、古くて新しいリスタートと思える教育現場の動きだと言えます。今大会が、子ども達のあり様をみて、今こそピア・サポートの必要性を強く感じた皆さんが集まり、実践交流を通して、勇気と元気とアイデア、ヒントを持ち帰り、取り組みを深めていく、そんな大会になることを、心から願っています。

また、本大会では、大人同士のピア・サポートの重要性にも着目したいと思います。大切なのは、「つながり」です。今一度、原点に戻りましょう。そして、コロナ禍で削がれてきた子ども達や大人同士の絆づくりを、理論と実践を通して学びましょう。

ピア・サポートを真ん中において広め、深めていくことを期待しております。

実行委員長 長野 喜美子

1. プログラム

対面方式での開催を基本とします。※印はZoomでも併行して配信いたします。
(オンラインの方には配信のみですので、リモート環境は参加者でご用意ください。)

1日目 11月3日(日)

8:30～	9:00～9:25	9:35～11:35	11:35～12:50	12:50～14:20	14:40～17:40	18:30～20:30
受付	開会式 ※	講演会 ※	昼食休憩	シンポジウム ※	ワークショップ	大懇親会

2日目 11月4日(月・祝)

8:30～	9:00～12:00	12:10～12:30	12:30～
受付	研究・実践発表 (分科会)	閉会式 ※	後片付け

2. 内容

《1日目》

- 受付 【8:30～】
- 開会式 【9:00～9:25】
- 講演会 【9:35～11:35】

講師 中野 武房 氏 (日本ピア・サポート学会名誉顧問)

演題 ブーカ (VUCA) の時代 ～ピア・サポートで生き抜く～

要旨 ピア・サポート研究会発足の頃から振り返り、今に生きる子どもたちの「環境が複雑性を増し、将来の予測が困難 (VUCA) な時代を生き抜く力」育成をピア・サポート活動に求め、更に先生方の心の健康のためのマインドフルネスにまで言及したい。

- 昼食休憩 【11:35～12:50】
- シンポジウム 【12:50～14:20】

テーマ：人とつながる支えあい

シンポジスト

あべ 弘士 氏 (絵本作家)

平野 直己 氏 (北海道教育大学札幌校教授・臨床心理士・SC)

小菅 正夫 氏 (元旭山動物園長・札幌市観光局参与)

コーディネーター

増田 梨花（立命館大学大学院教授・日本ピア・サポート学会研究調査委員）

長野喜美子（北海道教育委員会SC・日本ピア・サポート学会研究紀要委員）

《企画趣旨》

「人とつながる支えあい」の意味を考えたとき、そこには、目には見えない「間」や「空間」が存在しています。シンポジストの3氏は、つながりや思いやることについて、緊密な人間関係構築よりも、「間」や「空間」を大切にすることが近道と考え、ピア・サポートについても、教育活動の隙間を埋める大切な教育活動であるとの認識をおもちです。

ピア・サポートの意義について、3氏の視点から掘り下げて、参加者全員で視野を広げていきましょう。

ワークショップ【14：40～17：40】

研修委員会企画ワークショップ5講座を予定

大懇親会【18：30～20：30】

ホテル札幌サンプラザ 会費7000円

〒001-0024 札幌市北区北24条西5丁目1-1 *札幌創成高校から徒歩10分

《2日目》

受付【8：30～】

研究・実践発表（分科会）【9：00～12：00】

発表要件やエントリー方法は、別項をご確認下さい。

閉会式【12：10～12：30】

3. 参加ポイント

ピア・サポートトレーナー及びピア・サポートコーディネーターの資格更新ポイントに必要なポイントが、付与されます。

《研究大会2日間参加 2ポイント 研究・実践発表 3ポイント ワークショップ参加 2ポイント》

4. 大会申込と大会参加費について

- (1) 参加申込と大会参加費納入方法については、5月初旬に2次案内でお知らせいたします。
- (2) 参加申込と大会参加費納入は、PEATIXで行います。
- (3) 2次案内は、会員へのメール配信および学会HPに掲載いたします。

※お忙しい中とは思いますが、ご確認をお願いいたします。

【オンラインによるリモート参加をご検討中の皆様へ】

本大会は、対面で実施します。できるだけ、会場に足をお運びいただきますよう、お願いいたします。※開閉会式、講演会、シンポジウムのみ、オンライン配信も行います。

参加費（税込）※費用が変更になる場合があります。必ず2次案内をご覧ください。

参加費（税込）	会員	非会員・一般	大学生・院生
大会参加費	7,000円	8,000円	2,000円
分科会でのみの参加	—	2,000円	—
ワークショップでのみの参加	—	2,000円	—
講演会・シンポジウムでのみ参加	—	5,000円	—
オンライン配信でのみ参加	4,000円	5,000円	1,000円

※高校生以下は、無料です。

5. 研究・実践発表のエントリー募集

研究及び実践は、口頭発表とします。複数で発表する場合は、発表者のうちの代表1名を「責任発表者」とし、他の発表者を「連名発表者」とします。発表については、大会会場での対面方式とします。連名での発表の場合も、発表者のうち少なくとも1名が対面方式により発表を行います。

※連名発表者も、発表エントリーが承認された場合、大会参加費を支払います。

※発表抄録の原稿は、所定の内容に基づいて作成された、1発表につきA4判2ページの抄録を、責任発表者が期限までに提出します。

A エントリーについて

1. 申込期限：6月30日（日）

事前に、本学会研究大会HP（http://www.peer-s.jp/research_c.html）にある「発表論文集テンプレート」、「研究倫理ガイドライン」、「発表論文集投稿規定・執筆要項」、「発表論文集原稿作成上の注意」を確認してください。

研究発表にエントリーする会員は、右記QRコードにアクセスし、6月30日（日）までに申し込んでください。

1次エントリー：<https://jpsa22nd-1st-entry.peatix.com/view>



2 抄録原稿の作成・提出 提出期限：7月31日（水）

本学会研究大会HP（http://www.peer-s.jp/research_c.html）にある「発表論文集テンプレート」を用いて抄録原稿を作成し、メールで送信してください。

件名：第22回北海道研究大会『発表タイトル』（所属・責任発表者氏名）

本文：① 発表者（連名の場合は責任発表者・連名発表者の全員）の氏名・所属・職名

② 責任発表者のメールアドレス・電話番号(連絡先)

③ 発表タイトル

添付：原稿のWordファイルとPDFファイルの両方、図表・写真の内容・データ

送信先：peer.genkou@gmail.com

7月31日（水）までに提出してください。

3 抄録原稿の校正・最終提出 期限：9月10日（火）

査読後、発表者へ返却された抄録原稿を、結果を踏まえ、9月10日（火）までに最終原稿を完成し、提出してください。

B 発表条件

1 参加費のお支払い

第22回研究大会への参加費は、最終原稿を完成し提出するまでにお支払いください。連名発表者の方々も、同様に参加費の支払いが必要です。責任発表者の方は、その旨ご連絡ください。

2 以下の条件を満たすことにより、正式発表と認められます。

- ① 会抄録集へ掲載すること。
- ② 「責任発表者」「連名発表者」とも、日本ピア・サポート学会の会員であること（令和6年度の年会費を納めていること）。
- ③ 責任発表者になるのは、一人1回に限ります。ただし、連名発表者についてはこの限りではありません。
- ④ 同一の研究・実践についての発表は、2発表までとします。
- ⑤ 研究・実践発表（分科会）の編成上の都合から、連名発表者の発表時間が重なることもありますのでご了承願います。

C 第22回北海道研究大会発表エントリー方法

PEATIXにてお申し込み下さい。

1次エントリー：<https://jpsa22nd-1st-entry.peatix.com/view>

大会2日目の研究・実践発表（分科会報告）へのエントリー項目です。

- 発表責任者の名前（ふりがな）と会員番号
- 発表題目 ※発表内容を反映させて簡潔に記載してください。
- 発表概要 ※350字程度で記載してください。
- 責任発表者の所属、連絡先メールアドレス
- 日中に連絡のつく電話番号
- 連名発表者の有無
- 連名発表者の名前（所属）と会員番号（無い場合は「000」と記載）
- 発表形態

※発表については、大会会場での対面のみとします。

問い合わせ先

* 研究・実践発表のエントリーに関すること：jpsa2024.hokkaido.jimu@gmail.com

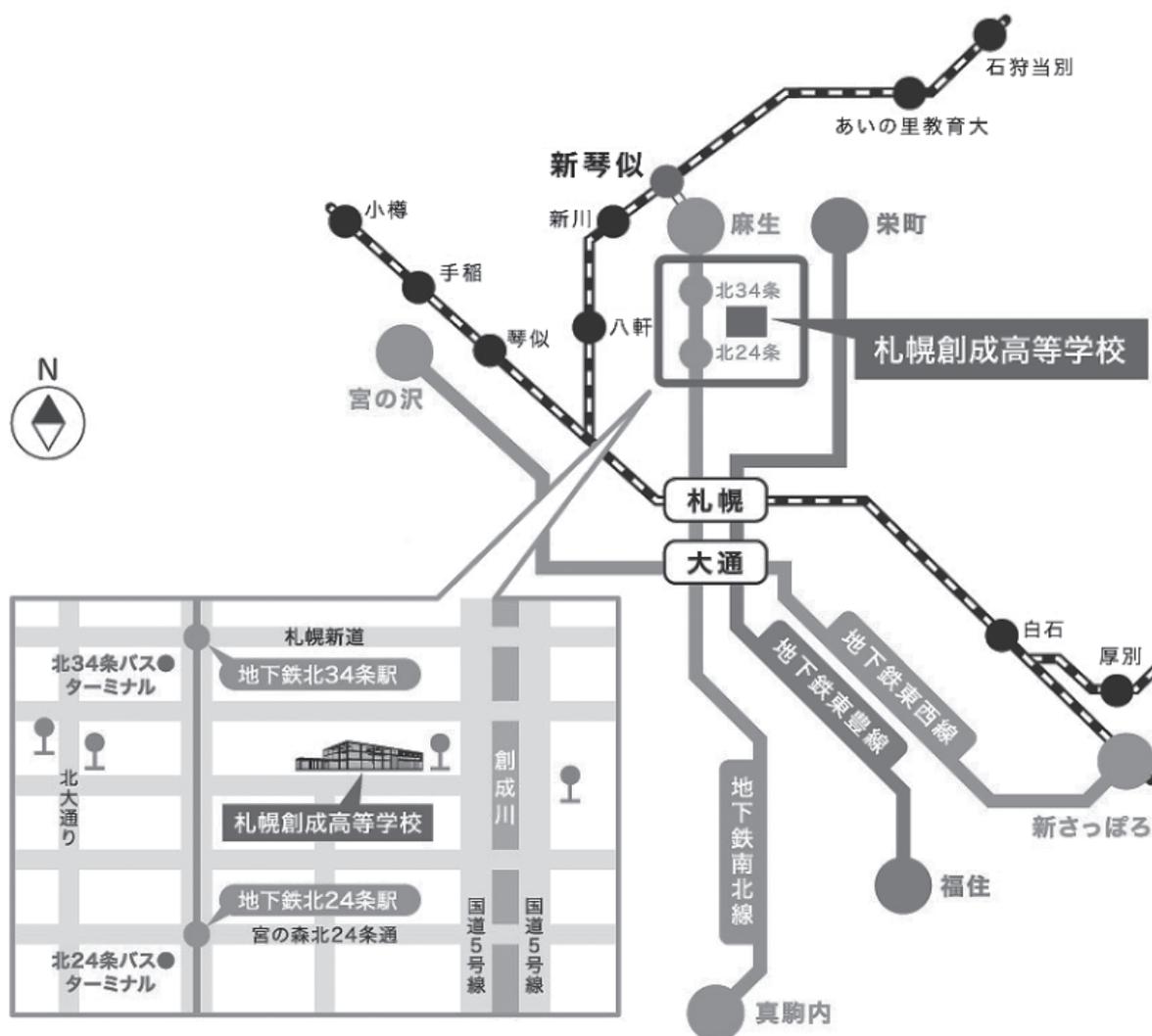
* 抄録原稿送付及び原稿作成に関すること：peer.genkou@gmail.com

北海道は、3連休には大変混み合います。宿泊先や交通機関など、早めのご予約をお勧めいたします。

研究大会会場【札幌創成高等学校】へのアクセス

利用できる交通機関

地下鉄	北34条駅下車	徒歩 6分
〃	北24条駅下車	徒歩 8分
中央バス	北30条西5丁目下車	徒歩 4分
〃	運輸支局前下車	徒歩 2分



駐車場には限りがありますので、大会当日は、公共交通機関を使用して来校をお願いいたします。